

○近づけばすっぱん来る池藤の花
○飛んでみて直ぐに不時着つばめの子
炊き出しの上野公園花は菜に

初江

富江

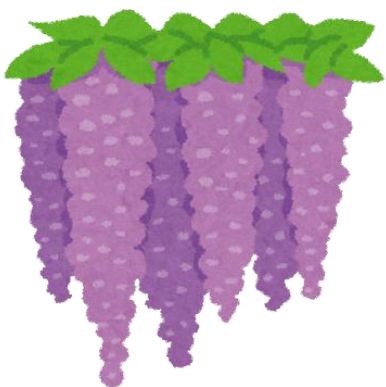
○のぶちゃんかコロナ面会藤の花
里の兄納骨式へ燕来る
春の虹友よ故郷とこしえに

美貴

○対岸へ水面すれすれつばくらめ
つばめつばめ燕の好きな宙返り
花の塵風に纏れて舞ひ行けり

丞子

○移住者の終の栖や燕来る
藤棚に風犬の欠伸と堀の猫
芋環わたまきの花傘寿の傘のプレゼント



○春室戸マンボウ味噌煮勧められ
○北山に手を合あわす男おとこ燕来る
薫的いんてきの藤の見頃を知らず友

富子

千代

○一山にあまたの地蔵藤の風
和菓子屋の白抜きしろぬきのれん夕燕
アーケード光ひかりこぼして初燕

文子

○校庭の百年の藤盛りなり
燕来あきよガレッジ開けて待っている
芍薬しやくやくの蕾つぼみに芋虫いもむし如何いかにせん

農子

○昼月のかかる山際紋白蝶
餌ねだる皆口開けた燕の子
日当たりて水滴光る藤の花



○水動く春を一枚のみこんで
寝ころべば聞こえてきそう蟻の唄
茶飯事になった年金減るニュース

酔花

○つばくらめつぶて色にて往来す
ひとときわに杉のまどふは藤の花
やぶ藤や蔓はほんぼう花ゆらら

えり

○山藤のわずかに揺れて雨来たる
○スマートホン持たぬ女の春日傘
逃水を追うて男の影うすれ

志津子

★次回市民句会

【開催日時】

令和五年五月二十四日(水)

午後一時十五分～午後四時(予定)

【場所】

オーテピア4階 集会室

どなたでも自由にご参加いただけます